

第二保育園・尚白保育園の再編整備プラン

令和3年3月策定の「保育所・幼稚園・認定こども園施設分類別計画」において、耐震性の不足や老朽化により安全性に課題を抱えている第二保育園、尚白保育園の両施設は、取り組みの優先度が最も高い施設として位置付けています。

子どもたちの健やかな成長と子育て環境の充実を図るため、次のとおり再編整備を進めます。

◆再編整備方針

現状と課題（令和3年8月現在）			
○施設の現状			
第二保育園		敷地面積	3,651㎡
幼児棟	建設年	S49	延床面積
			882㎡
耐震性	低い	(H22：耐震一次診断)	
乳児棟	建設年	S52	延床面積
			700㎡
耐震性	あり	(H22：耐震一次診断)	
定員	180	児童数	146
		充足率	81.1%
尚白保育園			
建設年	S51	延床面積	656㎡
		敷地面積	711㎡
耐震性	低い	(H23：耐震一次診断)	
定員	70	児童数	72
		充足率	102.9%
○徳山中央部※の課題			
▷ 就学前児童の減少に対し保育ニーズは増加			
▷ 慢性的な入所待ち児童の発生			
▷ 特別な配慮が必要な児童の受け皿が必要			
※両園の児童が主に居住する今宿、中央、関門、岐山地区			

再編整備方針
① 民間活力の導入と公立施設の更新による定員250人程度の受け皿を確保
② 民間事業者が行う新規保育所の整備・運営による、入所待ち児童の解消
③ 民間施設の定員枠は160人程度を確保令和5年度以降、開設・運営
④ 公立新施設の整備（定員90名程度）令和8年度以降の開設予定※ ※整備候補地の選定状況により、開設時期を調整する場合あり

年次計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
第二保育園	計画公表 利用者周知		段階的に縮小			公立新施設へ 移転・統合
尚白保育園						
民間施設	公募	民間候補地で 施設整備	民間候補地で 開設・運営	⇒	⇒	⇒
	※定員の確保状況に応じて、令和4年度以降も公募実施					
公立新施設	整備候補地の選定		設計	建設	新園開設	

◆再編整備による効果

○安全な施設環境の整備

▷ 耐震性が不足し、老朽化が進む公立保育所の施設・設備環境の更新が図られます。

○民間活力の積極的な導入による多様な保育ニーズへの対応

▷ 民間事業者の参入により、入所待ち児童を解消するための受け皿の確保が図られます。

▷ 独自のサービス展開等、多様な保育ニーズへ柔軟な対応が期待されます。また、国の補助制度の活用により、市の財政負担の軽減につながります。

○公立保育所の整備による安定的・専門的な保育の充実

▷ 特別な配慮や緊急に支援が必要な児童のセーフティーネットとしての役割が確保されます。

▷ 子育てに関する様々な課題について、行政機関としてのネットワークを活かし、地域や関係機関との連携のもと迅速な対応が図られます。

▷ 人口が集中する徳山中央部における子育て支援の中核施設として、子育て相談や一時預かりの充実など、地域の保育ニーズに即した子育て支援を推進します。

▷ 新たに設置する公立施設で教育・保育の先進的・専門的な取り組みを研究・実施するとともに、保育従事者への研修等を通じて、市全体の質の維持・向上を図ります。